

授業概要

本講義では、プロスポーツクラブ、スポーツNPO、スポーツ用品メーカー、フィットネスクラブ、スポーツ小売店などスポーツを「事業（営利・非営利含む）」として行う活動の総称である「スポーツマネジメント」について講義する。なお本講義では、「事業」としてのスポーツの特性のみならず、事業としてスポーツを取り扱う組織の経営方法や管理方法などもスポーツマネジメントの範疇に含め、講義を行いたい。

授業計画

第 1 回	ガイダンス、スポーツマネジメントとは
第 2 回	スポーツマネジメントの基本原則
第 3 回	スポーツ組織の経営戦略
第 4 回	スポーツ組織論①（組織構造）
第 5 回	スポーツ組織論②（モチベーション）
第 6 回	スポーツ組織におけるリーダーシップ
第 7 回	スポーツビジネスにおけるキャリア
第 8 回	スポーツ経営における国際化
第 9 回	スポーツ経営における多角化
第 10 回	スポーツ経営における企業家精神
第 11 回	スポーツ経営におけるイノベーション
第 12 回	プロ野球のマネジメント
第 13 回	Jリーグのマネジメント
第 14 回	スポーツNPOのマネジメント
第 15 回	スポーツイベントのマネジメント
第 16 回	期末試験

到達目標

- ・「スポーツマネジメント」とは何か、自分の言葉で説明できるようになること。
- ・スポーツマネジメントの理論を、事例を交えながら説明できるようになること。
- ・スポーツ経営現象を分析するための理論フレームワークを習得すること。

履修上の注意

- ・本講義では指定座席制度を導入する。後列座席着席の希望は医師の診断書を提出した場合のみ考慮する。前列座席着席への希望は初回講義終了時に教員に申し出ること。
- ・スポーツに関するニュースだけではなく、経済・経営に関わるニュースにも関心を持つこと。
- ・スポーツマネジメント系大学院の進学希望者、スポーツビジネス系企業への就業希望者は自分で積極的に情報を収集し、行動を起こすこと。そのための相談には応じるので遠慮なく相談に来て欲しい。

予習・復習

予習はテキストの指定された箇所に目を通すようにすること。復習はテキスト、配布資料に目を通すこと。

評価方法

- ・授業内課題（リアクションペーパーおよび小レポート） 60%
- ・レポート 10%
- ・期末試験 30%

※ 20分以内の遅刻は2点減点、20分を超える遅刻は5点減点。遅延証明書は3回まで考慮する（ただし60分を超える遅刻は考慮しない）。許可なきスマートフォンいじりは減点とする。遅刻4回ごと（遅延による遅刻を含む）に「遅刻事由説明書」の提出を求める（詳細は初回講義時に説明する）。

テキスト

- ・教科書名：スポーツ経営学入門—理論とケース—（増補版）
- ・著者名：大野貴司
- ・出版社名：三恵社
- ・出版年（ISBN）：2019年（978-4866930015）